

しもやま

下山地区データ（12月1日現在）
人口 **4,149** 人 (-67)
男性 2,064 人 (-27)
女性 2,085 人 (-40)
世帯数 **1,662** 世帯 (+7)
※（ ）は、前年同月比

支所だより

Vol.213

令和5年1月15日発行



モータースポーツを楽しみながら、交通安全の啓発



▲太田市長によるスタートフラッグ



▲山本選手のデモ走行



▲三河湖SSトークショーの様子

12月4日（日）、運転の正確さを競うモータースポーツ「エンジョイ・ドライビングin豊田（下山）オートテスト」を開催しました。多くの住民が参加し、モータースポーツを楽しみながら、運転や車を操作する難しさを体感しました。

イベントMCには、世界ラリー選手権に出場した山本悠太選手、梅本まどか選手を招き、運転のポイントなどの解説やラリーカーによるデモ走行を行いました。

競技の合間に行った三河湖SSトークショーで両選手は「三河湖周辺は紅葉がきれいで楽しいコース」「美しい景観は、住民の日頃の活動が伺える」と地域の印象を語りました。

また、主催者あいさつの中で太田市長は「三河湖SSは、大会の目玉中の目玉。オートテストを通じて、モータースポーツのファンや理解者を増やしていきたい」と話しました。

出場者からは「ラードライバー、コドライバーの仕事や運転のポイントなどを直接聞いてよかった」「運転に慣れてしまっていたが、今回を機に改めて安全運転を意識しようと思った」などの感想があり、交通安全の啓発とモータースポーツの楽しさを伝えることができました。



編集・発行／豊田市役所下山支所／毎月15日発行／〒444-3242 愛知県豊田市大沼町越田和37-1
TEL 0565-90-2111／FAX 0565-90-3344／E-mail shimoyama-shisho@city.toyota.aichi.jp
地域記者を募集中！あなたの伝えたい地域情報を支所だよりに掲載しませんか！



おもてなしを通じて、下山地区の魅力を発信！



▲五平餅の美食競争



▲和太鼓 雅と下山中学校による踊り



▲実況ブースの様子



▲太田市長と記念撮影

11月12日（土）、世界ラリー選手権（WRC）が開催され、多くの観戦者が三河湖周辺を訪れました。

しもやまラリーイベント実行委員会が、ラリー観戦をきっかけに、全国各地から下山地区を訪れる人々へのおもてなしを通じて、下山地区の魅力を発信しました。

当日は、下山地区らしいステージイベントとして、しもやま和太鼓 雅による演奏や五平餅の美食競争などを企画し、大いに会場を盛り上げました。

羽布集会所には、特設の実況ブースを設け、ラリーカーの動きや特徴をわかりやすく説明するとともに、その様子をYouTube LIVEで配信しました。観戦者へのアンケート調査では「心のコもったおもてなしをありがとう」といった温かいご意見をいただきました。

また、ゴール地点となった原石山付近にMIKAWAKOのモニュメントを設置し、多くのメディアに取り上げてもらうなど三河湖のPRにつなげることができました。

実行委員会では、今後も住民の機運醸成を図るとともに、ラリーを通じて、地域振興や下山地区及び三河湖の知名度向上を目指して、活動していきます。

【ラリージャパン2023の開催が決定】

令和5年のWRCの日程が公表され、ラリージャパン2023の開催が決定しました。

今後も下山地区一体となって、応援しましょう！

【開催日程】令和5年11月16日（木）～19日（日）

※三河湖SS開催日は、現時点で未定



▲ラリーカーとMIKAWAKOモニュメント



「バードウォッチングセラピー体験会 in 三河湖園地」を開催



▲体験会の様子

11月5日（土）、バードウォッチングセラピー体験会を開催しました。応募者の8名が参加し、五感で自然に触れながら、ゆっくり散策し、地域食材の弁当を味わいました。

参加者は「鳥のさえずりが心地よかった」「ふわふわした葉っぱに触れたことやクロモジの良い香りが印象に残った」と話しました。

この体験会は、三河湖園地を活用し、地域と共働して行う事業として、試行的に実施しました。今回の結果を踏まえて、今後の事業展開に活かしていきます。



伝統技術の再生に取り組む妙楽寺に、桂穂垣が完成！

11月16日（水）、7月号で紹介した妙楽寺の桂穂垣（かつらほがき）が完成しました。桂穂垣は、室町時代に京都を中心に盛んになった竹垣の技術で、豊田市等で活動し、造園や左官職人等からなる「宝の山の衆」が、昨年から制作していました。周辺地域から採れる竹や石などの材料をそのまま組み上げるという高い技術によって完成しました。

妙楽寺は、2019年に土塀も制作しており、妙楽寺の鈴木住職は「今後も、伝統技術の再生と継承に取り組んでいきたい」と話しました。



▲完成した桂穂垣



わくわく事業団体の紹介

●花沢二組芦原桜並木を守る会（酒井 敬 代表）

内容：芦原桜並木保全事業

【代表メッセージ】「芦原桜並木」は、近年老木化が進み、枯れ枝や病気の枝が見られるようになってきました。

そこで、造園業者の協力のもと、高所作業車を使って剪定を行い、花沢二組住民が総出で作業をしました。春には、美しい桜並木が見られることを住民一同楽しみにしています。



▲草刈りの様子



▲剪定の様子

●大沼まちづくり部（塚本・鳥屋地区）

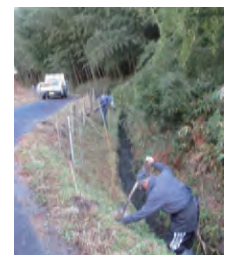
（松井 和夫 代表）

内容：ロウバイ花木で大沼の四季を彩る景観づくり

【代表メッセージ】わくわく事業3年目の本年は、花桃の植樹と休耕田を活用したコスモス畑の整備を行いました。冬季は既に植樹しているロウバイ、春期は花桃、秋期はコスモスと1年を通じて楽しめる農道を目指して、景観整備をしています。ぜひ見に来てください。



▲団体の活動の様子



▲花桃植樹の様子



社協下山支所だより
まどいの丘

連絡先：TEL0565-90-4005 / FAX0565-90-2419

住 所：豊田市神殿町中切 7 番地 2

M A I L : shimoyama@toyota-shakyo.jp



ささえあいネット（高齢者見守りほっとライン）に
ついて紹介します！

ささえあいネット（高齢者見守りほっとライン）とは、高齢者見守りほっとライン協力機関に登録して下さっている下山地区の商店等（飲食店、コンビニエンスストア、薬局、医療機関、郵便局、公共施設等）のみならず、まどいの丘包括支援センターが協力し、地域の高齢者とともに見守り・ささえるネットワークです。

あなたのまわりに気がかりな高齢者はいませんか？

近所に住んでいる高齢者について、日常生活や仕事の中で、「あれ？」「おかしいな？」という小さな「気づき」がとても大切です。



たとえばこんなことはありませんか？



あれ？

郵便物や新聞が
郵便受けにたまっている



あれ？

夜になっても
家に明かりがつかない



あれ？

最近、外出している姿を
みかけなくなった

連 絡

「何かおかしいな？」と思ったら、ご連絡ください。

まどいの丘包括支援センター
90-4335

職員が訪問等で
外出している場合もありますので、
来所でのご相談がある際は、
できるだけ事前にご一報ください。

確 認

必要な支援やサービスにつなげます

まどいの丘包括支援センターは、高齢者の様子を確認した後、必要に応じて病院や介護保険サービス事業者などの関係機関と連絡を取り合い、高齢者に必要な支援やサービスにつなげます。





下山交流館だより

連絡先：TEL0565-91-1650 / FAX0565-91-1030
 H P：http://ph-toyota.jp/guide/shimoyama/
 開館：午前9時～午後9時
 休館日：月曜日
 （祝日、振替休日を除く）



講座報告

マネー講座① 家族信託セミナー



11月20日（日）

参加人数 17人

「家族信託」とは何かを司法書士の方から詳しく学びました。

参加者は、講師の説明に熱心に耳を傾けていました。また質問や終了後の個別相談にも積極的に手が上がり、関心の高さが伺えました。

テストコース見学会



11月27日（日）

参加人数 236人

テストコースの第1、第2周回路をバスで見学し、38度の傾斜

があるバンクは実際に歩いて体感しました。環境に配慮したコースの設計や安心安全なトヨタ自動車の開発姿勢が分かる見学会になりました。

親子講座④ 乳幼児からの性教育



11月30日（水）

参加親子7組

「性」の文字から心を生き生きさせることがテーマでした。

講師が持参した「性教育かるた」を体験し、内容についてお母さん同士で交流しました。性教育についての絵本の紹介もありました。

マネー講座② 賢いお金の使い方



12月17日（土）

参加人数 15人

講師が作成したキャッシュフロー表に記入をすることで、何が不明で何を調べる必要があるのか、自分と自分のお金をよく知る良い機会となりました。お金の価値を考えた気になる投資についても学びました。

豊田中央図書館お知らせ

【問合せ】32-0717

詳細はこちらの
二次元コードから



「豊田市電子図書館」を使ってみませんか？

豊田市電子図書館は、インターネットに接続されたパソコンやスマートフォン、タブレット等を利用して、電子化された書籍等を読むことができるサービスです。来館が難しい人も「いつでも」「どこにいても」読書を楽しむことができます。豊田中央図書館ホームページから、約1,000点のコンテンツが利用できます。これからも書籍は増えていきますので、お楽しみください。

◇利用できる人：豊田市内在住・在勤・在学で図書館の利用カード（有効期限内）をお持ちの人

◇貸出し点数・期間：2点まで、2週間

◇利用できる電子書籍：絵本、児童書、家事・料理、育児、趣味、お金、小説など

利用カードが電子化されます※これまでの利用カードも使用できます。

図書館ホームページから「マイ図書館」にログインすることで、利用カードがスマートフォンやタブレットの画面上で表示することができます。

2月のロビー展示
下山シルバーエコクラフト班
エコクラフトかご・物入れ



お百姓のお正月

もちろ(正月)

月の満ち欠けの暦だった旧暦の頃は、
新月で始まる元旦ももちろ(正月)と
お祝(いわ)いしたけれど、まもなく月様の5日の
小正月を、もちろ(正月)と呼ぶようになった。
は特に大切に祝ったよ。もちろは、お百姓の
枝(えだ)のもちを飾る豊作を祈る飾り物。
玄関から見える所に飾ったよ。



藤の花と呼ぶ
飾(かざり)のもちを
枝(えだ)にのけて
梅(うめ)糖(とう)の枝(えだ)の
飾(かざり)の
もち。

根元(ねもと)はその年の6月
新木(にんぎ)に(正月)の
旧暦(こゝろ)は3月5日
あり、今(いま)は5月
閏年(うるし)の2月(に)は3月。



小正月の朝は、大豆粥(まめかゆ)を食べて祝(いわ)うよ。
子どもは出来た(できた)大豆粥(まめかゆ)を「一番(いちばん)に庭(にわ)の
梅(うめ)枝(えだ)の実(み)の生(な)る木(き)の又(また)6日(にち)におげん
生(な)るか生(な)らぬか生(な)らぬとぶちかてる」「
と言(い)うと、すかすか、その一人(ひとり)が
「生(な)ります 生(な)ります」
と受(う)けて寒(さ)いを願(ねが)ったよ。

先相(せんさう)様(さま)や、いも芋(いもいも)を合(あ)めず、道の石(いし)に
も小正月(こしょうげつ)を祝(いわ)い、半分(はんぶん)に割(わ)った、又(また)に、
家の内(うち)安全(あんぜん)や、豊作(とんぱく)の願(ねが)いを込(こ)めて
お祝(いわ)いしたんだよ。

